

施策評価シート

【施策の概要】

登録者(課長)名【1】		スポーツ振興課長 宮坂 哲史	
主管課(関係課)【2】		スポーツ振興課	
施策名【3】		分野【4】	
創2-3 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		多様な学びと文化・スポーツが息づくために	
まちはづくりの方向性【5】		創造性の育つまちはづくり	
概要		<p>健康維持に対する関心の高まりから、スポーツへの関心も高まっており、ジョギングやウォーキングなど手軽にできるスポーツをする人も多くなります。市民意識調査(平成24年9月)においても、スポーツ・レクリエーション活動が、今後最も参加したい地域活動のひとつとなっています。</p> <p>◆生涯スポーツ(する・みる・ささえるスポーツ)の環境づくり</p> <p>◆スポーツ指導者の確保、スポーツ推進委員の活用と育成</p> <p>市民がそれぞれの体力や技術などに応じて、生涯を通してスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりをめざします。</p>	
留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
<p>◇平成24年からの「健康日本21(第2次)」では、「身体活動・運動は、生活習慣病の予防のほか、社会生活機能の維持及び向上並びに生活の質の向上の観点から重要である。」との記述があり、平成25年3月に策定された「東京都スポーツ推進計画」では、スポーツ実施率の目標が70%に設定されています。</p> <p>◇2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けては、市民がよりスポーツとふれあう機会が増えるとともに、東京都による各種事業への補助等の支援が予定されています。</p> <p>◇スポーツ施設の老朽化が進んでおり、計画的かつ効果的な施設改修が求められています。</p>			
事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
1	スポーツ環境の整備・充実とスポーツ・レクリエーション活動の支援・活性化を図ります	スポーツ環境の充実、スポーツ施設の改修、スポーツ振興事業の実施、スポーツ推進委員の活用	
2	スポーツを通じた地域の活性化を図ります	生涯を通してスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくり	
3	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組を進めます	オリンピック・レガシー(遺産)によるスポーツ推進	
		障害者スポーツの推進	

【施策の成果】

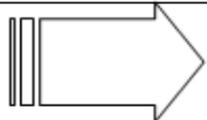
				年度		24	25	26	27	28	29
成果指標【12】	指標1	名称	「生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進」に対する満足度	目標値	40%				単位	%	
		算出式・説明	健康志向の高まりからスポーツへの関心が高まっており、市が行っている「スポーツ活動・イベント機会や施設など生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	29.9	29.9	29.9	28.8			
		達成率	75%	75%	75%	72%					
	指標2	名称	スポーツ施設利用者数	目標値	784,651人				単位	人	
		算出式・説明	市民のスポーツライフの充実のためには、市民が利用しやすいスポーツ施設環境が望まれます。より多くの市民がスポーツ活動に参加できるように、スポーツ施設利用者数が増えることを目標とします。	実績値	766651	760977	780898				
		達成率	98%	97%	100%	0%					
	指標3	名称	スポーツ施設利用団体数	目標値	2,517団体				単位	団体	
		算出式・説明	市民のスポーツライフの充実のためには地域に根付いた様々なスポーツ活動団体が果たす役割が重要です。より多くの市民がスポーツをする機会が増えるように、スポーツ施設利用団体数を増やしていくことを目標とします。	実績値	1917	2087	2201				
		達成率	76%	83%	87%	0%					
	指標4	名称		目標値					単位		
		算出式・説明		実績値							
		達成率									
達成率の平均値				83%	85%	87%	24%				

【市民意見】【13】

24年度		27年度	
満足度(%)	29.9%	満足度(%)	28.7%
満足度(平均ポイント)	0.02	満足度(平均ポイント)	0.11
重要度(%)	64.8%	重要度(%)	63.7%
重要度(平均ポイント)	0.74	重要度(平均ポイント)	0.78

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input type="checkbox"/> 以前と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 強くなっている		
		意識調査での重要度【18】 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る		
検証項目	今後の方針	◇スポーツ・レクリエーション活動の支援については、様々な市民のニーズに応えるために、指定管理者が実施する教室事業の充実やスポーツ推進委員を活用した主催事業を行い、スポーツをするきっかけ作りに寄与していきます。                 ◇スポーツ環境の整備については、「きらっと」「ひばりアム」を除いた全ての施設が15年以上を経過してきており、優先順位を検討しつつ、計画的な施設更新や施設の整備が必要となってきています。また、スポーツ環境の充実を図るための既存施設のレベルアップ等も併せて検討する必要があります。                 ◇総合型地域スポーツクラブの定着・推進に向けては、引き続き活動場所の確保などクラブ運営に必要な支援を行っていきます。                 ◇2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピックについては、市民がこれまで以上にスポーツにふれる機会となることから、気運醸成を図るとともにオリンピック・レガシー(遺産)によるスポーツ推進に取り組みしていきます。		
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	施策実施コストの方向性【21】 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
		IV	成果を維持するため、コストの重点化を行う施策領域	
【一次評価後の事情変更等】				
説明【23】				
【行革本部評価】				
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み			
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化			
	判断理由等【24】                 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進については、平成20年度より指定管理者制度を導入し、多様な市民ニーズに対応した生涯スポーツの実現に向け取り組んできました。市民意識調査結果では、満足度が高いことを踏まえると、現状のサービス水準を維持しつつも、施設管理・運営面での効率化に努めるべきと判断しました。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした気運醸成や環境整備などへの対応については、国や東京都の動向を注視しつつ、補助制度や支援事業等を活用するなど、可能な限りの実施コストの抑制に努めることとします。			
	V	成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域		

【施策内の事務事業貢献度判定】

創2-3 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	スポーツ振興事業の実施	スポーツ振興課	指定管理者制度を導入することで、スポーツ・運動施設利用者のニーズにあったプログラムの提供や専門的な人材を配置することで、市民のスポーツ振興を図ります。
	スポーツ施設の改修	スポーツ振興課	平成25年度から全11施設を指定管理者による管理・運営を実施しています。指定管理者と協議を行いながら、スポーツ・運動施設改修工事の整備計画を作成し、引き続き計画的にスポーツ施設の長寿命化のために改修工事を実施します。
	スポーツ推進委員の活用	スポーツ振興課	すべての市民が自分に合ったスポーツ・レクリエーション活動を親しめるように、地域スポーツ活動に助言を行うとともに、市が実施する事業に協力し、スポーツ施策の充実を図り、市民の健康・体力の増進を図ることを目的として活用しています。
2	近隣自治体と連携したマラソン大会の開催に向けた取組	スポーツ振興課	多摩北部圏域5市（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）によるスポーツへの参加機会を提供し、健康の増進及び市民相互の交流を図ることによる地域の活性化を促します。また、今後開催される2020年東京オリンピック・パラリンピックの気運醸成を含めた事業展開を図り、多摩・島しょの魅力を高めることを目的として、東京都の協力により、圏域内では初となる都立小金井公園での大規模なリレーマラソン大会を開催します。大会は圏域5市の小学生以上の市民等4～10名により構成されたチームを募り、襷を繋いで1周1.8kmのコースを概ね23周、合計42.195kmを走る予定です。
	スポーツ環境の充実	スポーツ振興課	学校施設を利用することは、地域住民の自主的なスポーツ活動の推進や総合型地域スポーツクラブの定着・推進を図る上で有効であると考えていることから、学校施設の開放をより促進するための学校施設の設備の充実や地域活用について、教育委員会と協議しながら進めます。
	東伏見公園のスポーツフィールド機能の充実に向けた対応	スポーツ振興課	公園におけるスポーツ施設は、生涯スポーツを推進する上で重要と考えています。関係各課と連携して、スポーツフィールド機能の充実に向けて東京都に働きかけを行います。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業の評価(直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】
	事業費	人件費			
4,781	3,134	1,647	改善・見直し(平成25年度)	中	A
316,812	314,342	2,470			B
22,469	21,646	823	事業化(平成21年度)	—	B
8,173	6,526	1,647	改善・見直し(平成19年度)	中	B
10,734	2,500	8,234			B
412	0	412			B
0	0	0			—
363,381	348,148	15,233			